

令和元年7月10日

愛知県上海産業情報センター

林 秀 幸

## 一般調査報告書 江蘇省常州市「常州国家高新区」について

今回、江蘇省常州市の「常州国家高新区」を訪問する機会を得ましたので、その概要について報告します。

### 1. 常州市

常州市は長江（揚子江）の南、太湖の北に位置し、3200年以上の歴史を誇る文化都市です。近年は、長江デルタ地帯の製造業の重要拠点として発展した、面積4,385km<sup>2</sup>、人口約471万人の江蘇省の地級市（概ね省と県の間クラスの行政単位）の一つです。上海からは高鉄（新幹線）で約1時間、省都南京からは約40分という非常に交通至便な地域です。現在、市内では地下鉄の工事が急ピッチで進んでおり、年内には地下鉄1号線が開通する見込みで、将来的には6号線まで整備される計画となっています。

常州市には、7つの経済開発区があり、今回このうちの一つで、常州市の最も北寄りの長江に面したエリアを含む常州国家高新区を訪問しました。

### 2. 常州国家高新区

常州国家高新区は、1992年に国務院の批准により最初に成立した国家級高新区の一つです。区の総面積は508.94km<sup>2</sup>で、当初スタート時に約30万人だった人口は、現在では倍以上の約70万人に達しているとのこと。

高新区内には、水運、陸運、航空、鉄道の各交通インフラが整備されています。長江に面する港である長江常州港は、10万トン級の船舶の汎用ポートを有する江蘇省内最大の国家第一級内陸河港です。また、常州空港は、同じく高新区内にある国内20以上の都市への国内線のほか国際線も備えた国際空港です。陸路では、8つの高速道路のインターチェンジがあり、国内各地への物流のネットワークが形成されています。

この高新区は、産業の発展方針として「2つの特色産業、3つの新産業」を掲げており、「ソーラースマートエネルギー」、「カーボンファイバー及び複合材」の2つの特色産業と、「新エネルギー車及び自動車コアパーツ」、「新医薬及び医療器械」、「新IT産業」の3つの新産業を重点的に発展させることを目指しています。

高新区内は主に8つのエリアに分かれており、航空産業やソーラー産業、生命健康産業といった産業パークエリアのほかに、ビジネス区や保税区といった金融や物流に関わる分野のエリアもあります。また、クリエイティブ産業基地では、市の観光の目玉施設でもあるユニバーサル恐竜城などのクリエイティブ旅行産業やアニメ産業などのほか、モバイルインターネット産業を始めとする新世代情報技術産業を重点的に誘致しています。

また、高新区にはレンタル工場がいくつも建設されていますが、既に満室の状態となっており、現在、新たなレンタル工場群が整備されつつあります。



間もなく整備が完了するレンタル工場群



レンタル工場の内部

今回の訪問では、このうち生命健康産業パークに工場を置く愛知県企業K社を訪問しお話を伺うことができました。

### 3. 愛知県企業訪問

K社は、愛知県内に本社のある製薬メーカーです。K社は当地では2013年に現地法人を設立し、2014年から製造を開始していますが、当初は用地の取得契約と並行して、製造はレンタル工場ですらスタートしたとのこと。その後、2017年12月に新工場が竣工し、2019年2月から、新工場での本格操業が始まりました。現在は、日本向けの医薬品3品目を製造しているとのこと。

K社は、本格的な現地生産はまだ緒に就いたばかりということで、取得した用地の一部しか活用が進んでいませんが、今後、段階的に生産を拡大し、工場を増築していきたい考えのようです。ただ、製薬業は医薬品の品目ごとの製造許可の取得に約5年を要するとのこと、製造品目の追加はなかなか容易ではないといった事情もあるようです。しかしながら、製薬を始めとした健康長寿産業は、今後、高齢化の進展が予測される中国にあっては、伸びしろの大きい将来性のある分野であるということで、K社ではそうした将来の展望に向けて、今は地道に業績を積み上げていく我慢の時期だと仰っておられました。

K社の方に現地の活動で困っておられることをお伺いしたところ、環境規制を始めとした工場操業に伴う政府の規制（中には、世界の最高レベルの技術をもってしてもクリアできないような規制もあるとのこと）をクリアすることが大きな課題だということでした。ただし、この高新区では、常州国家高新区招商局のアジア部の担当の方々がそうした企業の直面する課題に対して逐一丁寧に対応していただけるとのことで、（招商局のアジア部の方は、局長以下4名とも日本語が堪能）これまで様々な課題を互いに協力してクリアしてこられたようです。

また、昨今の米中貿易摩擦の影響についてお伺いしたところ、K社においては日本向けの製品しか製造していないこともあり、現時点で特段の影響はないとのことでした。

上海産業情報センターでは、今後も中国の現地情報を提供して参ります。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。